



小野 末治さん

「これからも厳しいよ」 小野 末治さん (満願寺)

また小野末治さん(満願寺)は、昨年、転作に里いもを作りました。

「里いもを一反四畝ほど作ったが、出来はまあまあというところかな。ただ値段が暴落して、話にならない。」

「一昨年は転作せず、昨年初めて転作を行ったという小野さんですが、今後については厳しい見方を、「何を作るにしても、外国から輸入する作物と競合するも



遠山富二男さん

「当面は転作に大麦を」 遠山富二男さん (新郷屋)

転作に大麦を作られ、一反から六百八十鈴という高収量をあげられた遠山富二男さん(新郷屋)にお話をうかがいました。

「昨年は幸いにもうまくできて、麦を作ったのは初めてですが、普及所の指

当面は転作に大麦を

遠山富二男さん (新郷屋)

導や土地の条件が良かったこと、それに雪がなかったことも助かりました」

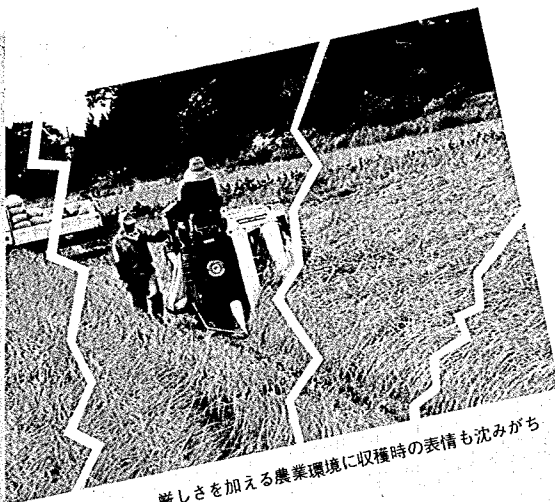
大麦を選んだのは、稲と同じ機械を利用でき、手間も割合にかからないという理由からだそうですが、「本当は米を作れば一番いい。土地の条件もあるし、はたして米に負けないくらい所得が上がる作物があるかどうかというのが問題です。今のところは奨励金がありますから、米を作った場合とほぼトントンになるんですけど」と、転

# 一〇〇%達成へ全力で

## 迎えた転作問題

# 正念場

を



厳しさを加える農業環境に収穫時の表情も沈みがち

四年ぶりの大雪に見舞われ、三月の声を聞くというの外はまだ一面の銀世界。でも、陽射しは一日ごとに暖かさを増しており、春はもうそこまできています。

ところで、春の訪れとともに、農作業ももうすぐ一斉に始まりますが、農業を取りまく環境には年々厳しさが加わるばかりです。いうまでもなく、米の生産調整の問題です。

特に当市にとっては、今年は「試験の年」ともいえます。今号は、正念場を迎えた転作問題と、市の対策についてふれてみました。

## 転作割当ては五百ヘクタール

昭和五十五年、つまり今年新津市に割当てられた転作目標面積は、約五百ヘクタールです。新津市全体の水田面積は三千三百ヘクタールほどですから、約一四%の水田を転作しなければならぬ計算になります。

### 昭和55年度転作等目標面積

498.1ha

|           |         |
|-----------|---------|
| 基本面積      | 246.5ha |
| 54年度未達成面積 | 99.0%   |
| 積み増し面積    | 152.6%  |

| 転作割当てと実施状況 |                  |                     |                     |
|------------|------------------|---------------------|---------------------|
| 53年度       | 割当て面積<br>246.5ha | 実施面積<br>147.6ha     |                     |
| 54年度       | 基本面積<br>246.5ha  | 53年度未達成分<br>340.9ha | 54年度未達成分<br>239.4ha |
| 55年度       | 基本面積             | 54年度未達成分            | 積み増し分               |

米の生産調整が強化された昭和五十二年の目標面積は二百四十六ヘクタールほどでしたから、その約二倍。下のグラフにもあるように、昭和五十四年度の未達成分に加えて、さらに今年から生産調整が強化され、積み増し分として百五十二ヘクタールもの配分があつたからです。

米作中心の当市の農業にとつては大きな打撃ですが、長期的にみても生産調整は強まるばかりで弱まる可能性は少ないこと、また、目標を達成しなかった場合、ほかの農林事業に大きな影響が出ることを考慮し、目標の一〇〇%達成に向けて全力で取り組むことにしました。

各農家のみなさんにはききごろ仮配分通知を行い、特段のご協力をお願いしていますが、後でふれるように、市でも転作農家の負担軽減のため、でき得る限りの準備を整えています。

### 生産調整はさらに強化？

昭和60年には80万haに拡大か

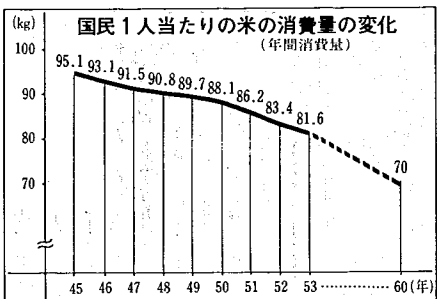
ところで、前ページでもふれたように、今年から積み増し分として当市に百五十二ヘクタール配分されまの計画では、昭和五十四年度から十一年計画で生産調整を行い、第一期(五十三～五十五年)は転作の面積を全額で三十九万一千ヘクタールと定めていました。

しかし、生産の増加と米消費の伸び悩みから需給のバランスがくずれ、政府が抱える古米の在庫は、昨年末で六百五十万トンと見込まれるようになり、予想以上のペースで古米が増えたことになりました。このことから五十五年はさらに転作面積を増やし、五十三万五千ヘクタールの生産調整が実施されることになったのです。積み増し分は、その増えた分というわけです。

また今後の見通しとしては、生産調整は強まりこそすれ、弱まることはないだろうといわれることです。左のグラフにもあるように、消費者の米離れがますます進むと予想されているからです。

このため国では、昭和五十六年から始まる第二期以降は徐々に転作目標を増やし、昭和六十一～六十六年頃までは全国で八十万ヘクタールの転作を実施したいとしています。八十万ヘクタールといってもピンときませんが、これは全国の水田面積の二八%に当たる膨大な数字であり、東北六県と新潟県全部の水田面積に匹敵します。

上でご紹介したお二人の話にもあるように、「米作りに見通しがたない」という不安は、今後も長く続きそうです。



お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

**護身と長寿若返りの妙技**  
小学四年以上の男女百歳でも少々の不自由な方でも大丈夫、勇気と自信と健康を求めよう

週1回くらいが最適 水・金 夜7時～9時まで  
日曜午後2時～4時まで

**八光流柔術健康道場**

新津市結(バス停前)道場 古 隆 院 ☎4-0470  
自宅連絡所 食室 善 乃 屋 ☎2-1058  
五泉道場 緑町(市原工場内) ☎(02504)2-0336

花椿会にお入りください。

**資生堂チェーンストア**

本町2丁目 **マツヤ** TEL (2)0418

第四銀行が向い、北越銀行がとなり、

最新鋭機パーマックドライ  
朝9時30分までのお持込みは  
当日仕上がり！

各取つぎ店ご利用下さい。  
持込 2～3割引

**マルヤドライクリーニング**  
本町1 鶴山医院前 TEL 2 0739

**東芝ストア**  
より良いサービスと  
楽しい暮らしに奉仕する店

**(株)八重電商事**  
本町二 TEL 4-3131(代)